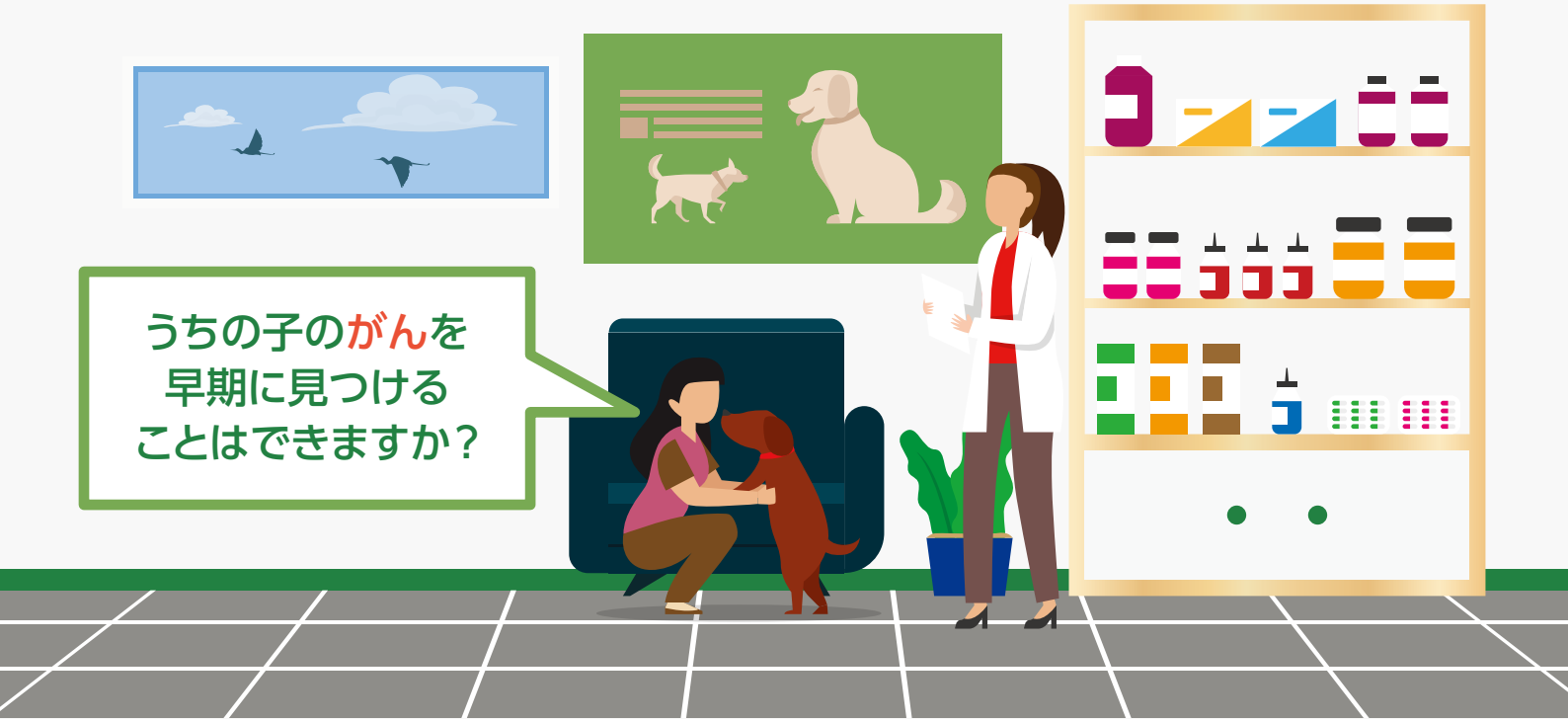
FUJIFILM

Volition Veterinary




がんに対する血液検査

# nu·Q vet Cancer Test

ニューキューベットキャンサーテスト

## がん検診の重要性

人と同様、犬でもがん検診は健康維持へ重要な取り組みのひとつです。
Nu.Q® Vet Cancer Testは、重篤な症状が現れる前に測定することで、**病気に打ち勝つ可能性が最も高い時期**である早期発見に役立ちます。

## Nu.Q® Vet Cancer Testとは?

Nu.Q® Vet Cancer Testは、細胞が壊れると放出される物質である**ヌクレオソームの血中濃度測定**により、現在がんが存在しているリスクを見積もります。**7歳以上**のシニア犬はもちろん、**腫瘍になりやすいとされる種類の若い犬**にも最適です。

## 次のステップ

Nu.Q® Vet Cancer Testを定期的な健康チェックに取り入れることは、愛犬の健康管理の中で重要なステップです。
また、血液検査だけでなく画像検査を含むがん検診を受けることで、より多くの情報を得ることができ、治療の選択肢を広げることができます。

## 特に気を付けるべき人気犬種

ゴールデン
レトリーバー

フレンチ
ブルドッグ

ビーグル

ラブラドール
レトリーバー

バーニーズ
マウンテンドッグ

フラッドコーテッド
レトリーバー

ミニチュア
シュナウザー

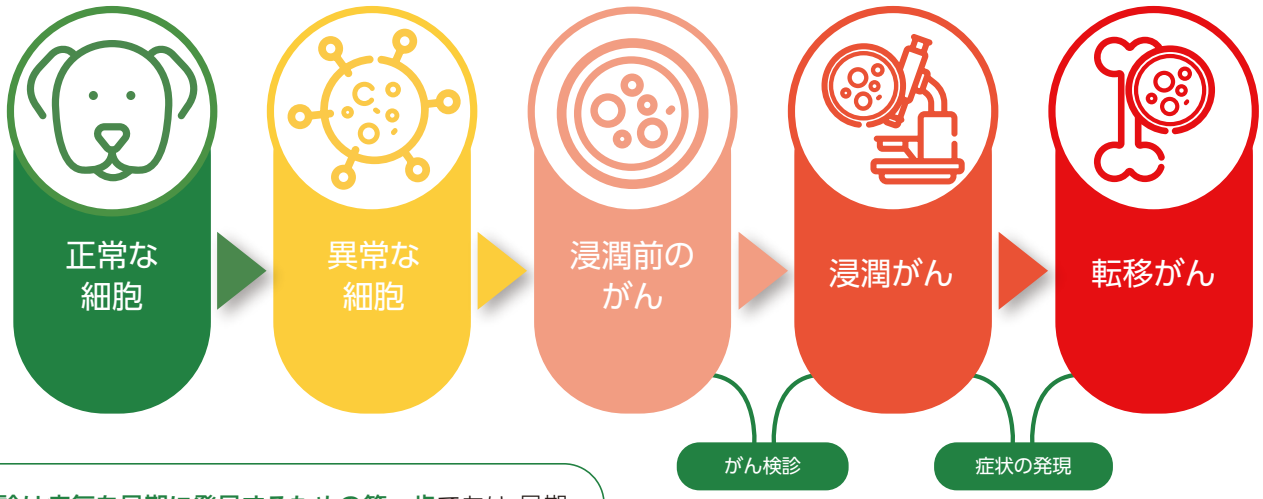
ウェルシュ
コーギー

シベリアン
ハスキー

富士フイルム VETシステムズ株式会社

# がん検診の価値

nu·Q vet Cancer Test




**検診は病気を早期に発見するための第一歩**であり、早期に診断されればより良い治療結果を得ることができます。がんが全身に転移する前に発見するために、**がん検診は重要な役割を果たします。**

## 詳しくは獣医師までお問い合わせください！

### キーポイント

がん検診は、**7歳以上**のシニア犬だけでなく、**犬種や遺伝によるリスクの高い若齢の犬**にも推奨されます。

**Nu.Q® Vet Cancer Test**は、**リンパ腫や血管肉腫**を含む全身性がんの約76%を検出します。
これらは、**犬のがん全体の3分の1**を占める主要ながんです。

Nu.Q® Vet Cancer Testだけですべてのがんを見つけることはできませんが、本検査を導入することで早期発見・早期治療の可能性が高まります。

富士フイルム VETシステムズ株式会社

# 結果の解釈とアクション

## ローリスク
## ≦50 ng/mL

**解 釈**
多くの健康な犬における結果と一致しています。

**アクション**
今後も健康を維持するため、定期的に健康診断を受診してください。

## ハイリスク
## ≧80 ng/mL

**解 釈**
腫瘍の可能性があります。

**アクション**
しこりやリンパ節の腫れがないか確認し、獣医師の判断により画像検査等の追加検査を受けてください。

## グレーゾーン
## 51-80 ng/mL

**解 釈**
値を上昇させ得るさまざまな要因が考えられます。

**アクション※**
絶食しており、気になる症状がない場合は、4時間絶食の上で2～4週間後に再検査してください。絶食しておらず、気になる症状がない場合は、4時間絶食の上で期間をあけず再検査を実施することを推奨します。

**※ 再検査後のアクション**

再検査後も上昇したままの場合は、「ハイリスク」の場合のアクションを検討します。
再検査後に ローリスクに戻った場合は、6か月後に再検査をおすすめします。

Nucleosomics™、Nu.Q®とロゴは、VolitionRx Limitedおよびその子会社の商標および/またはサービスマークです。